会　議　録　（概要）

会議名称	令和元年度　伊那市特別職報酬等審議会第２回審議会
日　　時	令和元年１１月２２日（金）　午前１０時３０分から午前１１時３０分まで
場　　所	伊那市役所　庁議室
出　席　者	【委　員】　唐木和世、小口知彦、御子柴茂樹、平澤隆、百瀬直寿 滝澤雄二、鈴木教仁、木嶋仁美、飯島信子 【理事者】　白鳥市長（答申時） 【事務局】　総務部長、総務課長、職員係長
議　　題	（１）市長、副市長、教育長の給料について （２）市議会議員の報酬等について （３）答申案について 答申
配布資料	・議員の活動状況 ・教育長、議員報酬改定シミュレーション

議 事 内 容　（要　旨）

1 開　会

2 会長あいさつ

3 審議事項

(1)1 回目の審議の確認

（会長）市長、副市長の給料は据え置き、教育長の給料は、制度改正に伴い、職責も増えていることから、増額見直しの方向、議員の給料については、なり手不足が問題となっており、増額見直しの方向だが、議員定数が適切かどうかの検討は必要ではという意見が出た。付け加えることはあるか。

（一同異議なし）

(2)市長・副市長・教育長の報酬等について

（会長）それでは、市長、副市長、教育長の給料について審議する。

市長、副市長については前回据え置きという方向が出ている。教育長の給料について、前回増額の意見が出たので金額について具体的に審議する。

（委員）7番という人口順位で考えれば 4,000 円か 5,000 円増額では。

（委員）教育長の職務の重さが私にはわからないが、教育委員長が減って２人分の職務を１人でやっているということであれば、もう少し上げてもいいのではないか。

（委員）7番にこだわるなら、7番になる最高の上げ幅で 8,000 円という考え方もある。

（委員）人勧や民間給与の伸び率は考慮する必要があるが、5,000 円では役割が変わった感じがしないので、8,000 円が考え方としては、よいと思う。

（委員）私も、最初は5,000円くらいと思っていたが、仕事が増えているということのなで、もう少しという感じになった。

(委員)今のご意見ごもっともだと思うが、市が抱えている学校の数とかある程度反映するのが妥当だと思う。

(会長)今までの意見を総括すると8,000円増額ということでよろしいか。

(一同異議なし)

(3)市議会議員の報酬等について

(会長)議員の報酬については、前回増額との方向が出ているので、その金額について審議をする。

再確認だが、前回の改定はいつか？

(事務局)4年前、議長、副議長、議員の報酬について月額5,000円増額改定している。

(委員)議長、副議長、議員を別にするのもどうかと思う。人事院勧告と県内順位をみると3,000円から4,000円くらいの増額かと思う。

(会長)委員それぞれのお考えをお聞きしたい。

(委員)議長は、市長と同等程度の公的な行事等の出席も多いので、上乗せの必要があるかと思うが、増額ということであれば、議長も一律の金額が妥当かと思う。人事院勧告からみれば3,000円くらいかと思う。

(会長)議長、副議長、議員を段階に分けて上げるという考えもあるが、今の意見のように、全員一律に上げるということでよいか。

(委員)一律でよいと思う。金額は3,000円くらい。3,000円というのも結構大きい。

(委員)教育長と同じような考えで見ると、上限4,000円くらいかと思う。

(委員)現行でも良いような気がするが、上げたとしても2,000円か、3,000円。

(委員)皆さんのお話も分かるが、増額して伊那市の財政状況は大丈夫なのか？市民の中でも、伊那市は借金ばかりでお金がないという噂がある中で、今こういう話をしているとそんな財源があるのかなと思う。

(会長)今の意見について財政状況の説明をお願いする。

(事務局)合併当時は一番厳しい状態だったが、財政健全化に向けて少しずつ努力してきた成果があり、例えば、将来負担比率が出ない、比較的成績が良い団体であり、財政状況については、十分改善されていると思う。

(委員)期待値を込めて3,000円から4,000円くらいかと思う。

(委員)皆さんおっしゃるとおりかと思う。若手が議員になって伊那市のために活躍していただくということになっていくと、頑張っていただく意味を込めれば3,000円くらいが妥当かと思う。

(委員)私の持論は前から言っているとおり、人数を減らして、個々の額をもう少し上げてちゃんと仕事をしてもらいたい。人数見直しの意見があるということだけでも伝えていただければと思う。

(委員)どこの組織でもそうだが、人口が減少しており、定数というのは常々話題にのぼる。減らすということは難しいが、議員全体の報酬を定額制にするのも一つかと思う。それも含めて答申したらどうかとも思う。

(会長)財政的には100％負担増になるが、増額ということでよいか？

(一同異議なし)

(会長)それでは、皆さんの意見を踏まえて、3,000円増額で、議員の定数等の見直しについて議論いただきたいという付帯意見でまとめたいがよいか。

(一同異議なし)

事務局答申書作成

(会長)　ただいま朗読のあったとおりの内容で答申してよろしいか。

(一同異議なし)

4 答　申

　会長が答申書を読み上げ、答申書を市長へ手渡す。

5 市長あいさつ

（市長）　慎重審議の上に答申をいただいたことに心から感謝申し上げる。審議においては県内各市の状況及び社会情勢を考慮し、大変貴重なご意見をいただいた。特に今回は市会議員の報酬について、貴重なご意見を賜った。答申内容を踏まえて関係条例の整備等を議会に提案をして参りたい。

6 閉　会